

「まもるっち」を貸与しています



▲まもるっち端末

●「まもるっち」とは

区では、区立学校に通う児童および私立学校等に通う区内在住で希望する児童に「児童見守りシステム用緊急通報装置」（通称「まもるっち」）を無償で貸与しています。

児童見守りシステムとは、地域の支えあい・助け合いによる安全・安心なまちづくりの実現を目的とする、区独自の防犯システムです。

児童が危険を感じた時に「まもるっち」の防犯ブザー用ストラップを引くと、警報音と同時に区役所内の「まもるっち」センターに通報され、状況に応じて生活安全サポート隊や保護者、学校、警察、地域の協力者に連絡をする仕組みです。

システムの運用時間は日曜・祝日、年末年始を除く月曜日から土曜日の午前7時30分から午後8時までで、運用時間外に発報があった場合は事前に登録した保護者へ自動音声またはメールで連絡を行います。



令和元年度の「まもるっち」の総発報件数は約6万件でした。その内、児童が身の危険を感じ、緊急事案として取り扱った件数は6件でしたが、重大な事態に発展した事案はありませんでした。

●保護者の皆様へお願い

「まもるっち」は、区や警察、そして地域の協力者の皆様の方で児童の安全確保を図ろうとするものです。

しかし、中には「公園の遊具を譲ってくれない」「友達とケンカした」など、本来の目的とは異なる理由でブザーを引く事例もありました。緊急時以外にブザーを引くことのないよう、保護者から児童に対し「まもるっち」を持っていく意味や正しい使い方をご指導くださいますようお願いいたします。

また、「まもるっち」は必ずしも犯人の撃退や児童の安全を保障するものではありません。児童の成長段階や発達段階、行動範囲の拡大などに応じて、危機回避能力を育み防犯意識を高められるよう、日頃からご家庭で話し合っていただければと思います。



83運動は、「小学生の登下校時刻である午前8時と午後3時には、

なるべく外の用事を行いながら子どもを見守ろう」というスローガンのもと品川区から始まった安心・安全のための見守り活動で、今では全国に広がっています。

登下校時刻に限らず、買い物や犬の散歩など外に出る機会があれば、子どもの様子を気にかけて、見守り活動にご協力ください。

令和2年度、83運動推進委員会では、この運動を普及させるために、マスクに貼るシールを作成して配布するなどの取り組みを行いました。

区もこの運動の普及に努め、主にベストやピンバッジなどの啓発グッズをPTAへ配布したり、周知のため広報紙に啓発記事を掲載したりするなどして、活動を支援しています。



学校改築を推進しています

学校施設の老朽化と
就学人口の増加

改築工事が完了しました

改築工事を進めています

区では、計画的に学校施設の改築工事を進めています。その背景として、既存の学校施設の老朽化が進んでいることや、就学人口が急増している（左図）といった要因があります。こうした状況に対応すべく、順次改築工事を進め、より安心・安全な教育環境の構築に努めています。

後地小学校は平成30年8月に工事に着手し、令和2年8月に校舎が竣工、同3年1月に全工事が完了しました。新校舎は、延床面積約7,800㎡、鉄骨造二部鉄筋コンクリート造の地上4階建て。普通教室、特別支援教室、特別教室計27室などを備え、屋上にプールを配置しています。

階、地下2階建て。普通教室、特別支援教室、特別教室などを備え、地下に屋内運動場を、屋上にプールを配置しており、1階の旧東海道側が幼稚園となっています。



後地小学校

城南小学校・幼稚園は、平成29年12月に工事に着手し、令和2年2月に校舎・園舎が竣工、同3年1月に全工事が完了しました。新校舎・園舎は、延床面積約9,000㎡、鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造）の地上4



城南小学校・幼稚園

両校ともに太陽光発電や太陽熱給湯等を設け、エコスクールとして文部科学省の認定を受けており、環境にも配慮しています。

鮫浜小学校は令和元年7月に工事を開始し、同3年度に校舎が完成予定です。浜川小学校・幼稚園は令和2年8月に工事を開始し、同3年度に園舎、同5年度に校舎が完成予定です。第四日野小学校は、令和3年度に工事を開始し、同7年度に校舎が完成予定です。このほか、浜川中学校では現在、改築工事に向けて基本設計を策定しています。

工事期間中は、児童・生徒・保護者・地域の皆さまにご迷惑やご不便をおかけしますが、安全に最大限配慮して行いますので、ご理解の程よろしく願います。



鮫浜小学校



浜川小学校・幼稚園



第四日野小学校

※画像はすべて完成イメージ図です

**特別支援学級の
設置校が増えます**

令和3年4月から小学校・義務教育学校（前期課程）の知的障害特別支援学級を下図のとおり新たに、日野学園と荏原平塚学園の2校に開設します。これにより、区内に6校ある義務教育学校の前期・後期課程全てに知的障害特別支援学級が設置されることとなります。



▲特別支援学級での学習の様子

知的障害特別支援学級では、記憶、推理、判断などの知的機能の



発達に遅れがみられ、生活への適応が難しい児童・生徒を対象に、一人ひとりの言語面、運動面、知的面などの発達の状態や社会性などを適切に把握し、主体性や自発性を十分に発揮できるよう指導を工夫しています。

例えば、低学年では体力づくりや基本的な生活習慣の確立、日常

生活に必要な言語や数量などの指導を、高学年では日常生活に加え、社会生活につながる知識や技能などを重視し、1学級8名という小集団での指導を行っています。

今後も、児童・生徒に寄り添い、発達段階に応じた適切な教育活動に努めていきます。

第44回わんぱく相撲 品川区大会

THE WANPAKU

＜主催＞
わんぱく相撲品川区大会実行委員会
＜お問い合わせ先＞
品川区相撲協会事務局
TEL) 03-3401-8847
Email) shirawaku@city.shinjuku.jp

開催概要

日程
2021年5月16日(日)

参加資格
品川区内在住または在学の小学生
※参加のお申し込みは、後日、生徒に配布するチラシからお申込みください

会場
品川区立豊葉の杜学園(アリーナ)

住所
品川区二葉1丁目3番40号

お知らせ

教育長杯各種スポーツ大会につきまして、令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から全て中止しました。そのため、例年本誌に掲載している表彰チームの紹介記事は、省略させていただきます。大会を楽しみに練習していた子どもたちの今後の活躍を願っています。